



五高だより



情報満載のホームページも御覧ください。

五高フェス初開催で大盛況！

十一月十九日、暖かい秋晴れの中、五高フェスを初開催することができました。「地域と一緒にSDGs（防災、もったいない）を考える」をテーマに、防災アウトドアの展示、コットンボール制作キット販売、火おこし体験や竹灯り制作体験などを用意しま

地域を盛り上げようと生徒が企画



した。火おこし体験では、普段はなかなか行うことが難しいスティックを使いました。参加した子供たちは、初めて自分で火をつける



経験をしました。初めてのうちは火花すら出ませんでした。が、生徒のアドバイスを聞いてコツをつかんだようでした。上手に扱っていました。また、竹灯り作り体験は子供たちがドリルで器用に穴をあけ思い思いの作品を作っていました。小学生を中心に約六十名が体験しました。今までの販売経験を生かし、用意した竹が売り切れるほどでした。キッチンカーを呼んだら盛り上がるのではないかと、出町商工会の御協力を頂き、日のコラボが実現しました。やきいも、クレープ、ハンバーガー、大判焼きのキッチン

ンカーにも御参加いただき、行列ができるなど、こちらも大盛況でした。

四百人以上の方々に来場していただき、楽しむ声や笑い声があふれるなど、地域の皆さんに楽しんでいただけたのではないかと思います。

地域の活性化や地域貢献をするためのイベントができないかを出発点に、六月の「大会議」で専門的な見地から様々なアイデアや指摘をもらい、内容をさらに深め五高フェスを実現できたことが一つの成果だと思えます。今回の取組を踏まえて、次回に向けて内容を練り、更に地域の方に知ってもらえるようにしていきたいです。



第2回ボルダリング地域交流会も同日実施！

五高フェスと同日、都立高校唯一のボルダリング施設を活用したボルダリング地域交流会を実施しました。

昨年引き続き二回目の開催で、今年も地域の子どもたちとボルダリングを通じて交流をするイベントです。午前の部二回、午後の部二回の計四回を準備しましたが、各回とも定員一杯となりました。二十名の参加となりました。アウトドアコース二年

生の生徒を中心に、参加者へのボルダリング指導を行いました。子供たちと自己紹介をした後、準備体操と手つなぎ鬼で身体ほぐし、ボルダリングの登り方や降り方の確認やシューズの履き方についてお話しをし、お約束の確認をしました。それからお楽しみ

のボルダリングに挑戦。皆それぞれ自分の課題にあったゴールを目指してい



ました。最後に皆で記念撮影をしてあつという間にお別れとなりました。

お昼の時間帯にも自由にボルダリングを体験できる開放時間を設けたところ、六十名近くの方が思い思いに体を動かし体験してくれました。また、この日に向けて、マネジメントコースの生徒はポスターを作成し、近隣の保育園、幼稚園、小学校に配布するなどの事前準備、当日の受付を行いました。

当日、マネジメントコースの生徒たちは体育館で実施していたヨーヨー釣りや輪投げ、ボーリング体験等にも多くの子供たちが集まり楽しく過ごすなど大盛況でした。園児や小学生たちだけでなく、小さい子供たちも走り回り、地域の皆さんに楽しんでもらえたと思います。今後にも更に続けていけるようにしていきます。



マラソン大会実施

十一月二十二日、秋も深まり美しい紅葉の中、全学年生徒によるマラソン大会を実施しました。男子10km、女子7km、五日市の豊かな自然と起伏が多く坂道のあるコースでしたが、生徒の皆さん全員が完走を果たしました。入賞者男女上位五位までの十人中六人が三年生でした。



二学期朝学習週間第二期を実施

二年生では二学期二回目の朝学習を行いました。今回は生徒からの要望が大きかった「数学」でした。期末考査に向けて試験範囲の練習問題を五日間取り組みました。

第一期と同様、試験一週間前は早く登校し、静かに学習に取り組み生徒が増えました。紙に計算式を書いて問題を解き、最後に振り返りに記入し提出



する形にしました。数学の教員が教室を回り、生徒の疑問に答えられるような体制の中で行いました。

振り返りシートは、毎回確認し、良く分からなかったところや気を付けるべき点などを試験に生かせるようにしています。数学が苦手な生徒には個別に声をかけ放課後の補習につないでいます。一学期に比べて、「数学が分かるようになった！」という生徒が増えていると実感しています。諦めずに努力することによって力になります。「継続は力なり」です。



定時制災害に備えて工夫をした防災教育

今年度、定時制は、都から「防災教育研究指定校」の指定を受け、様々な取組を行ってまいります。その取組を二つ紹介します。

十月十八日、定時制の全学年を対象にあきる野青年会議所の方々を講師としてお招きし、「地域と連携した防災訓練」を実施しました。



防災講話では災害復興支援活動の話聞き、災害時に「大したことじゃない」と落ち着こうと心の安定機能の

もいました。地域の方とすれ違ふときに挨拶を交わす生徒もいました。

マラソンは、自分の力を最大限まで発揮することが試せる絶好の機会です。限界を自分で決めず、自分の力を十分発揮できるように、継続して努力する力を身に付けてください。



働きをする「正常性バイアス」などについて、映像資料や演習を通じて学びました。また、アルファ化米などの非常食の炊き出し訓練も行いました。

十一月三十日には、地震及び火災が発生することを想定した避難訓練を、教職員が教室にいない状況で実施しました。避難に要した時間は学年により多少のばらつきはありましたが、各学年とも生徒会役員の生徒が中心となり、適切な避難行動を取ることができました。

こうした経験を生かし、どのような場面でも適切な避難行動が取れるようになるとともに、災害時に自分の命を守り、身近な人を助け、さらに地域に貢献できるように努めてまいります。

◆今後の行事予定◆

12月16日(全) 合唱祭
(定) 日本赤十字社と連携した防災教育
12月20日(定) 芸術鑑賞教室

12月21日(全) 子供を笑顔にするプロジェクト
23日 終業式
24日 冬季休業
令和5年1月10日 始業式
1月24日 (全) 探究活動成果発表会



<東京都立五日市高等学校が目指す生徒像>

広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者 東京都立五日市高等学校 校長 久保田 聡
住所 〒190-0164 あきる野市五日市894 電話 042-596-0176
URL : <http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/>

ファクシミリ 042-596-1250
御意見や御感想はこちらへ→

